

今月の最優秀作品

漢字条幅

景水 鳴海 絢音 「嶺」と「上」の画数の対比が生きている。行書力も抜群で無理のない自然な書き振りの良い。含墨量も心得ていて品致の高い作品となった。

(選評 鈴木 華邑)

嶺上多白雲

絢音 公

かな条幅

香心 斎藤 茉湖 伸びやかな連綿の流れを軽やかな運筆で気脈を通し、爽やかな気品が漂うかな作品となった。この調子でご精進を。

(選評 八尋 光華)

いのちさあわさるうき世の涼

ペン

山本 坂上 心奈 柔軟で伸びやかな線で堂々たる作品。手本を熟視して書き上げた。「心」の字形が安定して美しい。さすが「心奈さん」。

(選評 山崎 貴子)

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者、愚者に対する説話を説いており、威厳堂々たる書風である。

山本

教室

八

段 氏(楷書)

坂上 心奈

級

漢字半紙

羣賢畢至

宮部 小野由衣那

新和様

案ずるより産むが易し

咲音 公

かな半紙

あひまげやまの(と)ういそれなもう
よこのけうはあ、うきそな

文教

栗田 緒花

文教 栗田 緒花

伸びやかな運筆で原帖を良く捉えた臨書作品。墨色・墨量も良く、渴筆となる二行目の線質に練習の成果を感じる。(選評 井上 蛭湖)

樋川 山崎 咲音

手本をよく見て、字の大小を表現した。行同志を上手に呼応させ、起筆、収筆の筆遣いも良い。名前を少し小さくした。

(選評 多田 溪翠)

宮部 小野由衣那

線の太細に変化があり、蘭亭序の特徴である美しく躍動感のある作品になっている。落款まで気を抜くことなく仕上がっており見事。

(選評 山田 智舟)



8月提出の競書作品の写真版全作品は8月20日(木)より本会ホームページに掲載いたします。

◆ 今月の優秀作品 ◆

陽翠 詠成
不川 柊々
羣賢 畢至

關城 詠成
加藤 ひかり
羣賢 畢至

山下 遥香
羣賢 畢至

森山 紗菜
羣賢 畢至

セブ
岩崎 松菜
羣賢 畢至

長太 伴野 真優
羣賢 畢至

夕 高木 満乃
羣賢 畢至

單 佐藤 彩花
羣賢 畢至

分水 井伊 萌華
羣賢 畢至

無齋 八 吉本 はつき
羣賢 畢至

芳華 小嶋 悠夏
羣賢 畢至

天恵 今福 碧莉
羣賢 畢至

詠吉 長谷川 乃映
羣賢 畢至

コム 八 原 田 蒼
羣賢 畢至

恵好 百瀬 香奈子
羣賢 畢至

英花 萩 明莉
羣賢 畢至

十サ 長部 実乃莉
羣賢 畢至

有短 神崎 梨乃
羣賢 畢至

清峰 七 西尾 悠里
羣賢 畢至

七段 福元 遥香
羣賢 畢至

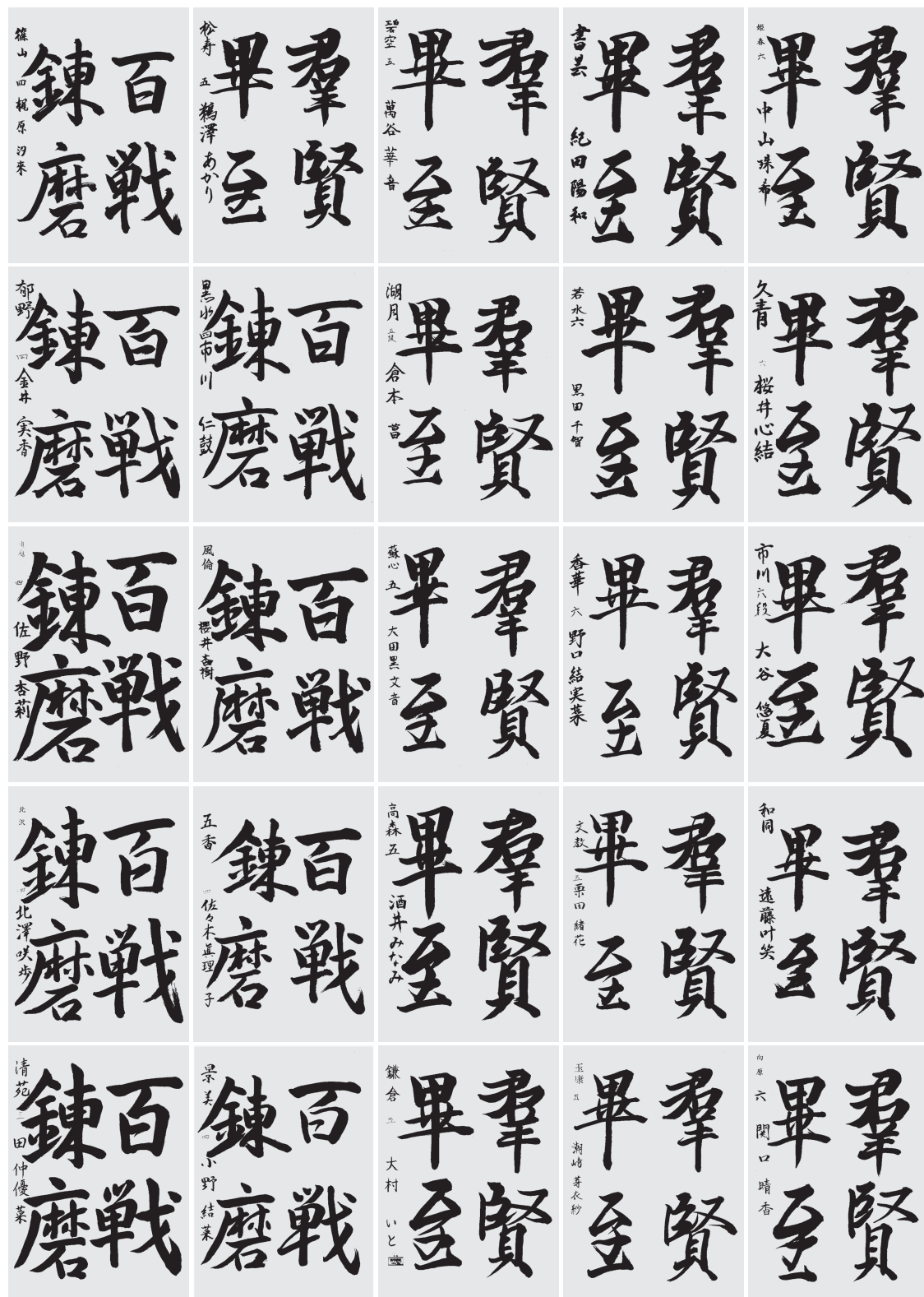
小平 七 篠崎 麻由
羣賢 畢至

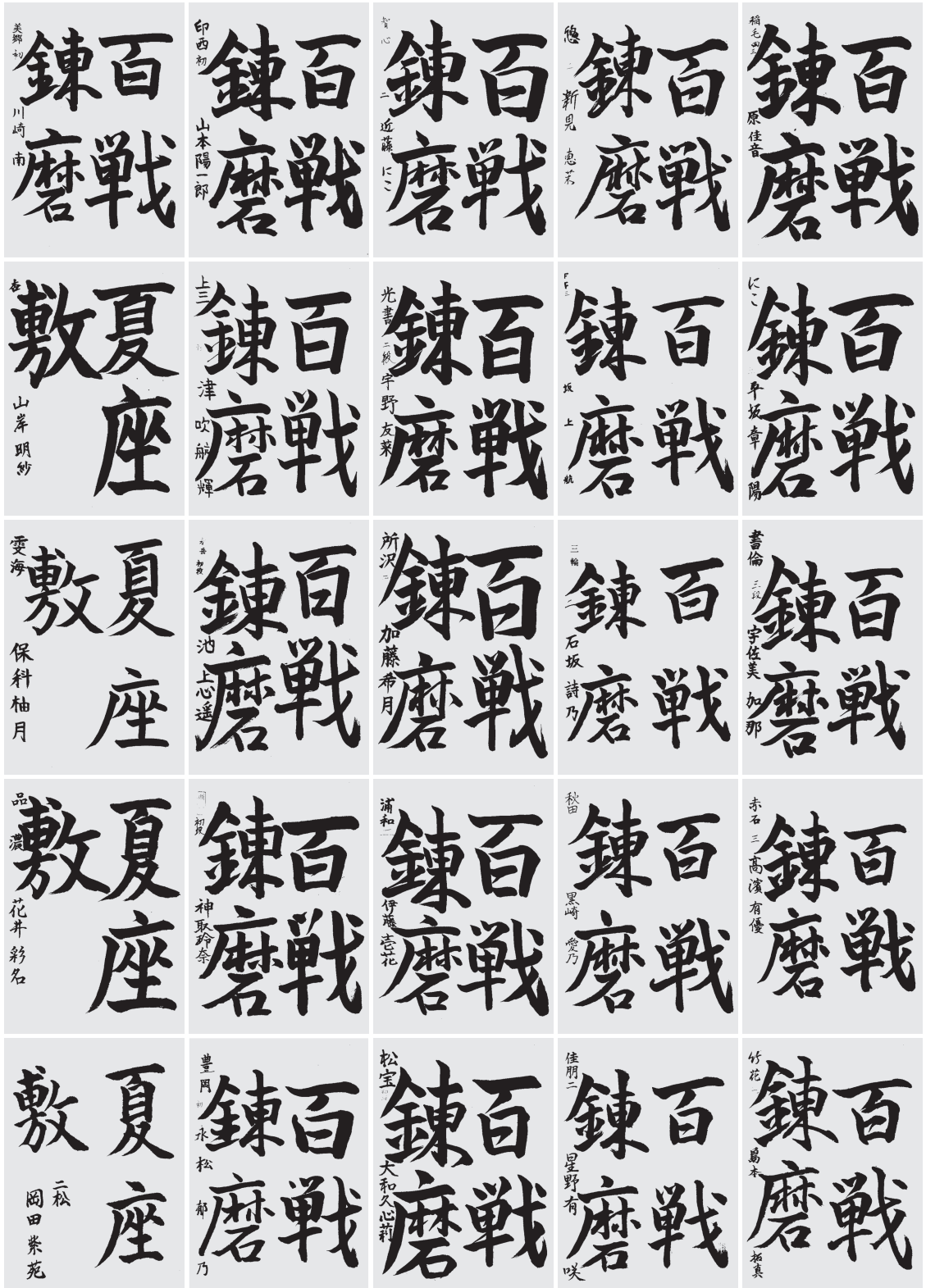
用賀 前川 優大
羣賢 畢至

若葉 七 林 杏樹
羣賢 畢至

曾水 七 川 原 しい
羣賢 畢至

柳蛙 七 山本 理久
羣賢 畢至





福岡八

本田結菜

あしきゆめみのうしろに
うしろのうしろにうしろに

郁野七 今井心春

あしきゆめみのうしろに
うしろのうしろにうしろに

頸城

細井陽加里

夏をさす
うしろにうしろに
うしろに

三学 四段 武藤唯

夏をさす
うしろにうしろに
うしろに

藤田段

野口ユノ

夏をさす
うしろにうしろに
うしろに

小平三 前澤敬子

夏をさす
うしろにうしろに
うしろに

高一 河野 奏

夏をさす
うしろにうしろに
うしろに

佳三 長谷川文佳

さきゆめみー
あひもですん

りん

村田絢菜

さきゆめみー
あひもですん

メグ

八木 薫

さきゆめみー
あひもですん

FF

澤田満梨果

さきゆめみー
あひもですん

清風 杉本 結

さきゆめみー
あひもですん

小茅

河野未歩

さきゆめみー
あひもですん

佳朋

奥村凜子

さきゆめみー
あひもですん

玉康

康本 唯衣

さきゆめみー
あひもですん

可書 安藤美空

さきゆめみー
あひもですん

嶺上多白雲

夏美書

書友

堀本 夏美

嶺上多白雲

真尋書

夕

長崎 真尋

嶺上多白雲

はるの書

頸城

松縄はるの

嶺上多白雲

花蓮書

紅 花

瀧澤 花蓮

嶺上多白雲

由衣那書

宮部

小野由衣那

沙水清

心奈書

山本

坂上 心奈

沙水清

咲歩書

北沢

北澤 咲歩

沙水清

実来書

光書

友永 実来

沙水清

美音書

蘭友

佐々木美音

ふらふらわたりて空の
しだ源

小峯 水野 伶音

ふらふらわたりて空の
しだ源

松原 佐藤 由珠

夏草や兵ともゆきの跡

紅彦 瀧澤 花蓮

夏草や兵ともゆきの跡

白鳥 星野 健

夏草や兵ともゆきの跡

コム 原田 蒼

案ずるより
産むが易し

夏美かく

案ずるより
産むが易し

惟裕かく

案ずるより
産むが易し

幸希かく

案ずるより
産むが易し

梨生和かく

案ずるより
産むが易し

実の莉かく

案ずるより
産むが易し

聖菜かく

案ずるより
産むが易し

マノンかく

案ずるより
産むが易し

葉結かく

案ずるより
産むが易し

杏菜かく

案ずるより
産むが易し

結稟かく

モン テオレ・マノン

青井 金子 葉結

玉扇 大島 杏菜

小平 荒尾 結稟

底の石
動いて見ゆる
清水哉
五香 佐々木真理子

底の石
動いて見ゆる
清水哉
和胃 木村奏太

底の石
動いて見ゆる
清水哉
人吉 永田漢一郎

底の石
動いて見ゆる
清水哉
香 高橋美幸

底の石
動いて見ゆる
清水哉
ふみ 池上こころ

底の石
動いて見ゆる
清水哉
芳定 田村希実

底の石
動いて見ゆる
清水哉
香桜 遠藤結己

底の石
動いて見ゆる
清水哉
FF 小林美穂

底の石
動いて見ゆる
清水哉
彩華 深沢勇輝

底の石
動いて見ゆる
清水哉
双玉 栗原橙花

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
祥穂 教聖 八 殿名 佐藤陽菜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
志成 教聖 八 殿名 衣川穂乃花

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
英花 教聖 八 殿名 姫野菜結

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
浮羽 教聖 八 殿名 江田藍子

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
仙水 教聖 八 殿名 田中春莉沙

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
光書 教聖 八 殿名 平野美桜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
人吉 教聖 七 殿名 村本佳穂

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
柳蛙 教聖 七 殿名 山本理久

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
白鳥 教聖 七 殿名 飯島宗大

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
あおは 教聖 七 殿名 堺小夜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
碧空 教聖 七 殿名 土谷梨紗

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威嚴堂々たる書風である。
公津 教聖 七 殿名 清宮ちか

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
そり 教 二 氏名 外海映喜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
五斗 教 三 氏名 酒井 心音

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
上毛 教 四 氏名 土井健太郎

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
ルネ 教 五 氏名 上辻美緒

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
竹花 教 六 氏名 今西 某月

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
白沙 教 七 氏名 山本 咲季

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
秋田 教 初 氏名 里崎 愛乃

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
景美 教 二 氏名 小野 結菜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
福岡 教 四 氏名 樋口 さくら

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
月倫 教 五 氏名 清水 星恋

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
分岐 教 六 氏名 酒井 愛乃音

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
香 教 六 氏名 高橋 美幸

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
青二 教 初 氏名 緒方 美月

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
番桜 教 二 氏名 町田 唯月

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
前田 教 四 氏名 矢崎 美晴

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
五川 教 五 氏名 都筑 ゆす

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
一葉 教 六 氏名 廣瀬 小春

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
久青 教 六 氏名 新井 純怜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
郁城 教 初 氏名 宮里 朱奈

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
清苑 教 二 氏名 田仲 優菜

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
知南 教 三 氏名 石川 芽依

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
中原 教 五 氏名 地崎 暖乃

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
天恵 教 六 氏名 今福 碧莉

東大寺に伝わる賢愚経は、賢者・
愚者に対する説話を説いており、
威厳堂々たる書風である。
玉康 教 六 氏名 瀬崎 希衣紗

短冊 短冊
浴衣 浴衣
絵日記 絵日記

光書 友永 実来

短冊 短冊
浴衣 浴衣
絵日記 絵日記

二和 土門里紗

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

セシ 西澤 菜希

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

大井 古賀 奈央

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

能見 芳賀 由 那

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

紅葉 大角 彩乃

短冊 短冊
浴衣 浴衣
絵日記 絵日記

品濃 平山 莉子

短冊 短冊
浴衣 浴衣
絵日記 絵日記

梅島 高木 綾子

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

小平 梅林 愛子

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

清光 飛田 佳乃

短冊 短冊
浴衣 浴衣
絵日記 絵日記

FF 小林 美穂

短冊 短冊
浴衣 浴衣
絵日記 絵日記

秀景 山田 紗李

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

桂書 下村 心希

中国産の墨は唐墨と呼ばれるが、
主たる産地は徽州である。

永岳 和田 莉子

<漢字一字書>

<平かな一字書>

書友

堀本
春香

魚

そり

外海
咲喜

魚

明代

坂田
日菜

互

そり

阿部
源也

志

月倫

渡部
理衣

魚

びわ

石橋
來亜

魚

菅山

東
栞愛

互

光書

平野
美桜

互

品濃

高梨
楓恋

魚

書友

上原
羅央

恵

紅

畑中
咲希

互

游心

池田ののか

互

千葉

森田
紬心

魚

そり

中來田芽依

魚

品濃

大江
美晴

互

住三

長谷川文佳

互